

文楽感想記

初めての文楽



仙崎中学校3年
佐渡 順太さん
(本町区)

本物の人形浄瑠璃を初めて観ました。人形は3人で動かし、息が合わないといけないような一つ一つの細かい表情は、まさに人間そのものでした。人形だけではなく、三味線や語りの方も、顔を真っ赤にして、汗だくでした。その一生懸命さが、観ている僕たちの心にドクンドクン響いてきました。

江戸時代の脚本でも、ちつとも古くさく思えません。僕も一度、人形を操ってみたいと思うほど、文楽に興味がわいてきました。ありがとうございます。

文楽を鑑賞して



俵山中学校3年
増山 絵美さん
(湯町区)

文楽と聞いても、何のことだかよく分からないとの思いが始めの印象です。でも、文楽を鑑賞したことで、日本の文化を直に楽しむことができたと思います。人形が人間のように軟らかく動き、きれいな目をまばたきさせます。人形だからできる動き方、簡単に見えて難しいリズムがあります。私はその人形の動きに興味を持ちました。

ほんの少しの時間だったけれど、とても楽しむことができて感謝しています。いい勉強になったと思います。

ありがとう

文楽座のみなさん



深川中学校3年
篠原 由記子さん
(小河内区)

公民館で、文楽公演を観ました。初めて観た文楽は、私に今まで味わったことのない感動を与えてくれました。使い手の方が、まるで生命を吹き込んだかのように、人形が生き生きとしていました。また大きく、強く響きわたる声に圧倒されました。

文楽公演を観ることがなかったら、文楽にふれることも、この素晴らしさを知ることもしなかったと思います。貴重な体験をさせてくださった文楽座の方々に、心からお礼を言いたいと思いました。

中学生のための文楽特別教室に出演して



光市島田中学校3年
郷土研究部
森永 武志さん

赤崎神社楽棧敷での公演に向け、部員9名で「壺坂観音霊験記」を一生懸命練習しました。

楽棧敷は観客席が高くなっており演じるのに迷いましたが、指導の先生の普段通りにとの助言を得て精一杯やりました。3年生には最後の舞台、これまで一番緊張しましたが、出来としては納得しています。

吉田箕助先生の温かい激励もいただき、また市内の中学生の皆さんからも大きな声援を受け、いい思い出ができました。ありがとうございます。